

第2期標茶町地球温暖化防止実行計画進行管理

町では、役場の事務事業で排出する温室効果ガス（主に二酸化炭素）の抑制を目的に「第2期標茶町地球温暖化防止実行計画（平成28年度～平成32年度）」を策定しています。計画の対象は町有施設や公用車などで、毎年度結果を公表していきます。

◎平成28年度の状況（進行管理）を公表します。

区 分	基準年度 （平成25年度） 排出量	平成28年度実績		
		排出量	増減量	増減率
ガソリン	129,902 kg	154,566 kg	24,664 kg	19.0 %
軽油	606,249 kg	496,004 kg	△ 110,245 kg	△ 18.2 %
灯油	673,667 kg	829,063 kg	155,396 kg	23.1 %
A重油	2,122,589 kg	2,121,730 kg	△ 859 kg	△ 0.0 %
LPガス	45,051 kg	46,497 kg	1,446 kg	3.2 %
電気	2,798,715 kg	2,818,877 kg	20,162 kg	0.7 %
廃プラスチック	1,101,167 kg	1,372,132 kg	270,965 kg	24.6 %
廃プラスチック	13,877 kg	23,828 kg	9,951 kg	71.7 %
合 計	7,491,217 kg	7,862,150 kg	370,933 kg	4.95 %

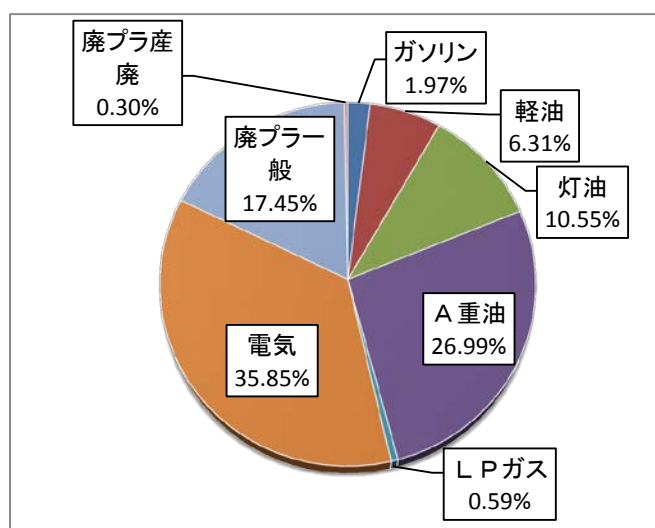
【第2期 実行計画の排出量削減目標】

7,491,217 kg	⇒	<u>△3.8%</u>	⇒	7,206,551 kg
基準年度（平成25年度）		削減目標		目標年度（平成32年度）

結果分析

- ・基準年の平成25年度に比べて、二酸化炭素の排出量は370 t増加し、目標年度より約5%の増加となりました。
 - ・二酸化炭素排出量増加の主な要因として、1つ目はガソリン・灯油の増加です。ガソリンは、スクールバスの総運行距離数が増えたこと等によるもので、灯油は冬の寒さの影響のため、各施設での使用量が増加しています。
 - ・2つ目は、ごみとして出る廃プラスチック類が増加しており、二酸化炭素排出量が増えています。これは組成率（※）が増加していることによるものです。引き続き、資源化できるものはできるだけ分別していただきますよう、町民の皆さんにご協力をお願いします。
- ※組成率…燃やせるごみの中に混ざっている廃プラスチック類の割合。年4回の抽出検査によって確認される。
- ・軽油については、一般車両・特殊車両・町有バス・スクールバスでの減少が二酸化炭素排出量を大きく減少させています。今後も車種の変更や業務の見直し等による削減に努めます。
 - ・排出量削減に向けて、全職場が積極的に実践してまいりますので、町民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

平成28年度二酸化炭素排出量構成比



○問い合わせ先

役場企画財政課企画調整係

(2階⑩窓口 485-2111 内222)